



- ◆国際ロータリー会長  
ステファニーA.アーチック
- ◆第2660地区ガバナー 大橋 秀典
- ◆クラブテーマ「言葉ではなく行動で」

本日例会 2024年11月 7日(木) 第982回

守口イブニングRC  
創立24周年記念例会



前回例会 2024年10月24日(木) 第981回

1. 開会 会長
2. ロータリーソング「我等の生業」
3. ニコニコ箱報告(小計3,000円 累計79,000円)  
藤井俊章会員 本日もよろしくお願ひします。
4. 委員会報告  
国際奉仕委員会 小林R財団委員長  
9/28(土) 社会奉仕・国際奉仕委員長会議  
出席報告
5. 幹事報告  
①会議・会合開催連絡  
10/27(日) くずはRC創立50周年記念例会  
長野会長・福田副会長出席  
10/27(日) IA年次大会 福田会員出席  
11/ 2(土) 大阪朋友RCチャーターナイト  
福田副会長出席  
②事務局閉局連絡  
10月25日(金) 有給休暇取得により閉局  
③例会休会連絡  
10月31日(木) 定款休会  
④回覧 11/7(木) 創立24周年記念例会出欠確認回覧
6. 出席報告(会員総数17名)  
10月24日 出席9名 欠席8名 出席率52.94%  
メイクアップ報告  
9月12日 出席10名 欠席7名 出席率58.82%  
(メイクアップ者 2名)
7. 本日のプログラム  
担当: 社会奉仕委員会  
卓話: 「現世ばなし」  
卓話者: 藤井 俊章 会員
8. 閉会 会長  
○親睦食事会「麗華」

会長の時間 ◆自信が湧いてくる言葉

- 対等に向き合う  
あこがれている人や、成功者と会ったとき下手に出る必要はまったくありません。相手が本物なら、堂々と接してくれるあなたの肝の据わり具合、あなたの自信をすでに見抜きます。
- どんな目をして生きていますか  
人間の価値は目に宿ります。目に力を入れる。これが習慣になると、自然と顔が引き締まってきます。目の奥にしっかりとした光を、そして心の中に自分という芯を持ちましょう。
- 幸せはどこにある  
人間にとってやる気が湧いてくる。大きな原動力になるものの一つ、それは「獲得」です。夢でもお金でも恋愛でも、理想の自分でもなんでもいいです。何かを追いかけている時が実は人は一番幸せなのです。

INFORMATION

次回例会 2024年11月14日(木) 第983回

卓話: 国際奉仕委員会  
小林ロータリー財団委員長

11月の例会予定

- 7日(木) 創立24周年例会  
例会前: 定例理事会
- 14日(木) 通常例会  
卓話: 国際奉仕委員会  
小林R財団委員長
- 21日(木) 30日の振替休会
- 28日(木) 細則休会
- 30日(土) 移動例会「地区大会」  
2日目・本会議  
会場: 大阪国際会議場  
時間: 受付12:00~  
本会議13:00~16:00  
※名札を忘れずにご持参ください





## 卓話 「現世ばなし」

墓じまいについてお話させていただきます。  
墓じまいとは、お墓そのものを解体・撤去してかたづけてしまうことをいいます。墓じまいを行うには、現在のお墓に埋葬されている遺骨を取り出して墓石などを解体・撤去し、更地にしてから永代使用権とともにお墓の管理者に返却します。ところが墓じまいの後、手元にはお墓から取り出した遺骨が残ります。日本では、お墓や埋葬のルールについて「墓地、埋葬等に関する法律」で定められており、お墓から取り出した遺骨を勝手に処分することはできません。墓じまいで取り出した遺骨も、きちんと供養する必要があります。墓じまいによる遺骨の供養の方法には主に3つがあります。

### ①合葬・合祀

納骨堂などの永代供養募で一定期間、個別に供養してもらってから、他の人の遺骨とともに埋葬する方法や、最初から合祀してもらう方法がある。

### ②散骨

遺骨のすべて、またはその一部を細かく砕いて自然に還す方法。よく知られる「海洋散骨」と樹木の根元などに散骨する「樹木葬」がある。

### ③手元供養

遺骨を骨壺に入れて自宅などの身近な場所で保管したり、アクセサリーなどに加工したりして供養する。

ちなみに、墓じまいとよく比較される方法としては「改葬」があります。改葬とは、現在のお墓に埋葬されている遺骨を取り出して、別の新しいお墓に移すことをいいます。改葬が「お墓の引っ越し」だとすると、墓じまいは「遺骨の引っ越し」と言えるでしょう。ただ、こうなりますと墓じまいの費用が気になると思います。墓じまいにかかる費用は、主に次の二つがあります。

#### ①石材店に払う費用

遺骨の取り出し費用は1万～3万程度、お墓の撤去費用は1㎡当たり10万～15万円程度です。

#### ②お布施・離壇料

今のお墓に宿る魂を抜くための儀式「閉眼供養」「お性根抜き」で読経してもらうさいには、お布施が必要です。また、寺院墓地を持つ人が檀家をやめる際に菩提寺の住

職などに「離壇料」を包むことがあります。離壇料は、通常のお布施の2～3倍程度が相場とされ、5万～30万程度です。閉眼供養でのお布施を離壇料とすることもありません。

ただ、墓じまいの費用が工面できない場合や、墓じまいしない方法として、民法ではお墓の承継者を長男や配偶者に限っているわけではありません。次男や長女や親族のほか、法律上は友人・知人でも承継することが可能です。先祖代々のお墓が遠隔地にあることで墓じまいを考えているのであれば、無理に墓じまいをせずに、お墓の近くに住む親戚など、承継者の範囲を広げて考えてみてはいかがでしょうか。承継者がいる場合には、遺骨の一部を取り出す「分骨」ですむ場合もあります。先祖代々の遺骨の供養はお墓の承継者に任せて、両親の遺骨など、自分に縁の深い遺骨だけ取り出して手元供養するといった方法もあるので検討してみてください。

墓じまい後は、遺骨を納めるにあたり多くの場合「合葬墓」に納骨されます。合葬墓とは他人の骨壺と一緒に供養するお墓であり、寺院や霊園によって一定期間が過ぎた後で骨壺から取り出して、他の遺骨とともに埋葬するタイプと、最初から合祀するタイプがあります。ほかにも合葬墓の選び方としては

#### ①埋葬の方法

最初からほかの人の遺骨とともに合祀されるか、専用の納骨スペースがあって個別に供養されるのか、個別供養の場合その期間は、など。

#### ②お墓の形態

屋外の合葬墓か、室内型（納骨堂など）の合葬墓か、樹木葬の合葬墓か、本山納骨など。

#### ③供養の形・頻度

合同供養式を行うのは毎月か、彼岸やお盆のときか、年1回か、どの程度の手厚い供養を望むのか、など。

これら3点を踏まえながら、予算の範囲内で合葬墓を選んでいかななくてはなりません。

（「葬式・お墓のお金と手続き」より抜粋）

